

時系列統計の利活用を目指して

～ 熊本県推計人口調査結果の補間補正 ～

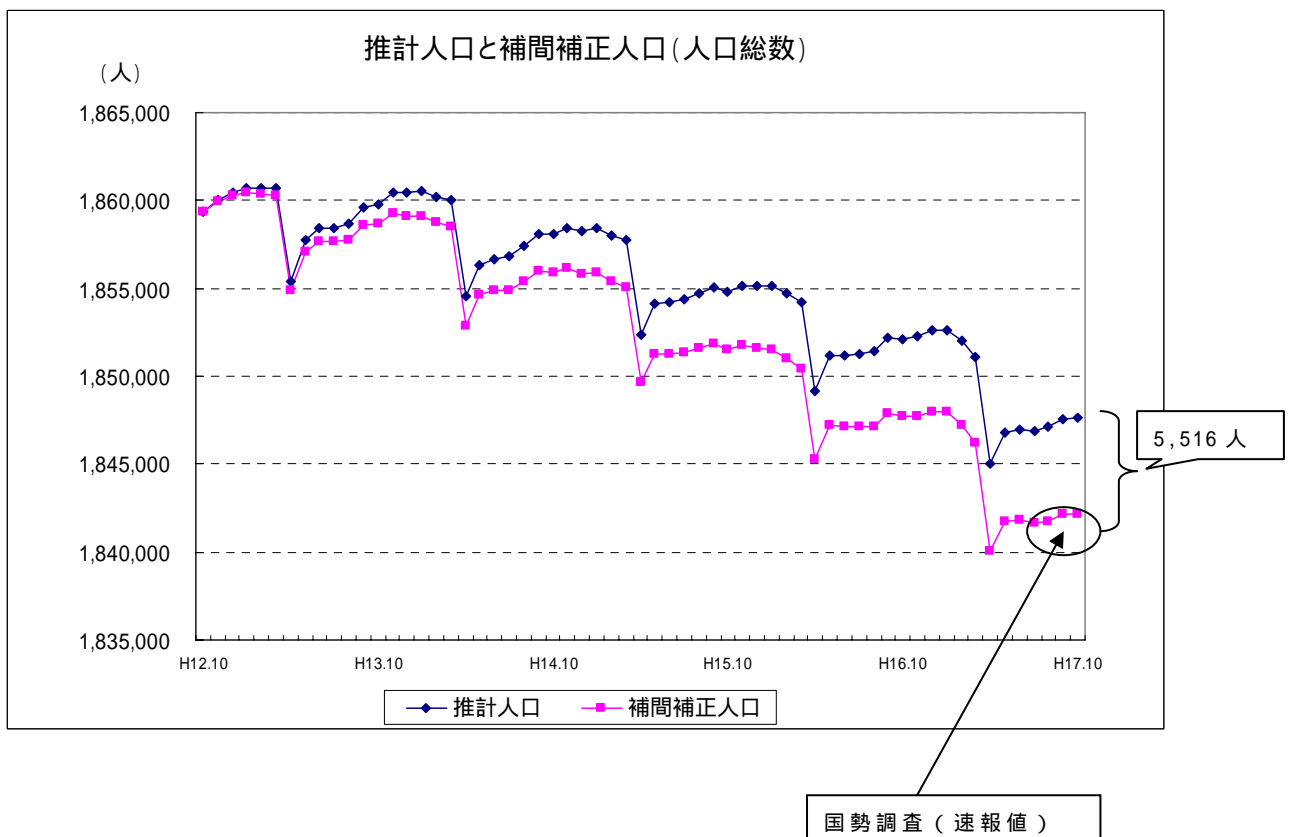
統計調査課が実施している「熊本県推計人口調査」は、最新時の国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、住民基本台帳法及び外国人登録法等に基づき県内市町村ごとの出生・転入・転出者等を加減して、毎月1日現在の人口を集計算出したものである。

平成17年国勢調査(速報値)による平成17年10月1日現在の熊本県の人口総数は、1,842,140人であり、平成12年国勢調査による確定人口を基準とした平成17年10月1日現在の推計人口である1,847,656人とは5,516人の差が生じている。

推計人口資料により時系列分析する場合には、国勢調査(速報値)を用いるため、平成17年10月1日現在で、人口が大きく減少する結果となる。

そこで、国勢調査人口と推計人口に連続性をもたせるため、この差を経過60か月(5年間)の各月に均等分配して、推計人口の補間補正を行った。

推計方法や計算式、及び推計結果は、統計調査課ホームページ「熊本のデータ」(<http://www.pref.kumamoto.jp/statistics/jinko/jinko/nenpo.htm>)に掲載しており、推計人口資料の一つとして御活用いただければ幸いです。



情報サービス業の実態に迫る

～ 特定サービス産業実態調査から ～

経済産業省では、サービス産業のうち特定のサービス産業（物品賃貸業や情報サービス業等を含む10業種）について、その実態を明らかにし、サービス産業に関する施策の基礎資料を得るため、「特定サービス産業実態調査」を実施している。

この調査報告書には、都道府県別統計表が掲載されており、情報サービス業の事業所数、就業者数、従業者数、年間売上高について掲載されており、九州8県（いずれも平成16年調査結果）を比較してみた（表1）。

（表1）事業所数、就業者数、従業者数、年間売上高

区 分	事業所数	就業者数 (人)	従業者数 (人)	年間売上高 (百万円)
福 岡	298	16,077	15,059	284,717
佐 賀	26	576	562	6,410
長 崎	82	1,669	1,608	17,844
熊 本	49	2,728	2,684	41,765
大 分	34	1,711	1,640	26,545
宮 崎	36	1,420	1,393	14,596
鹿 児 島	53	1,589	1,528	23,288
沖 縄	52	2,873	2,695	29,743
本 県 順 位	5	3	3	2

（表2）1事業所当たり就業者数、従業者数、年間売上高

区 分	1 事 業 所 当 たり		
	就業者数 (人)	従業者数 (人)	年間売上高 (万円)
福 岡	54	51	95,543
佐 賀	22	22	24,655
長 崎	20	20	21,761
熊 本	56	55	85,235
大 分	50	48	78,073
宮 崎	39	39	40,544
鹿 児 島	30	29	43,940
沖 縄	55	52	57,198
本 県 順 位	1	1	2

や契約先産業別の事業所数など、情報サービス産業における地域特性を探る上で、興味深い資料が多い。

特定サービス産業実態調査報告書の各産業編（表3）の統計内容は、インターネットでダウンロードすることができ、また、統計調査課内統計資料室にも保管されており、ご活用いただければ幸いです。

いずれの数値も福岡県が圧倒的な規模を示している。熊本県の場合、事業所数は5位であるが、就業者数は福岡、沖縄に次いで3位であり、年間売上高では2位となっている。このことから、熊本県の場合、規模の大きい事業所の割合が高いのではないかと考えられる。

実際、1事業所当たりの就業者数、従業者数は福岡県をわずかに上回り1位であり、1事業所当たり年間売上高でも2位となっている（表2）。

また、この他にも業態別事業所数

（表3）平成16年特定サービス産業実態調査
における調査業種一覧

調査業種（10業種）	調査周期
物品賃貸業	毎年
情報サービス業	
映画館	3年周期
ゴルフ場	
テニス場（テニス練習場を含む。）	
ボウリング場	
遊園地・テーマパーク	
ゴルフ練習場	
劇場（貸しホールを含む。）	
映画制作・配給業、ビデオ発売業	

映画館の光と影

～ 特定サービス産業実態調査から～

経済産業省では、サービス産業のうち特定のサービス産業（物品賃貸業や情報サービス業等を含む10業種）について、その実態を明らかにし、サービス産業に関する施策の基礎資料を得るため、「特定サービス産業実態調査」を実施している。この調査報告書（平成16年調査結果）の調査業種の1つである映画館編を基に、全国の傾向から本県の映画館の実態に迫ってみる。

調査報告書には、映画館数（スクリーン数）（以下、「映画館」という）、年間売上高、入場者数、年間上映本数など様々な項目ごとに掲載されている。その中で、全国の立地環境別映画館数（表1）について調べてみると、調査年ごとに映画館数が増加している。特に平成9年から13年にかけては大幅に増加している。これは、映画館やアミューズメント施設を有する大型ショッピングセンター（以下、「大型SC」という）が数多く立地され、これに伴ってシネマコンプレックス方式（注）の映画館が大幅に増加したことによる。「単独館（1つの事業所）」と「複数の映画館の同居ビル」は減少傾向にある。平成16年を平成13年調査と比較すると、「ショッピングセンターなどの同居型」が大幅増となった以外は、すべての立地環境で減少となっている。郊外の大型SCに併設されるシネマコンプレックス方式の映画館の館数増加のみが全体をけん引している。

近年、熊本市中心街の映画館の閉館を目にした。平成16年調査段階では、まだ熊本市中心街に多数の映画館があったが、平成16年以降、郊外に新設大型SCや、既存の大型SCにシネマコンプレックスが次々と誕生したことにより、本県の映画館事情が大きく変化してきているように見える。

大型SCのシネマコンプレックスと熊本市中心街の映画館の今後の動向については、次回の調査（平成19年）結果を注目したい。

特定サービス産業実態調査報告書の統計内容は、インターネットでダウンロードすることができ、また、統計調査課内統計資料室にも保管されており、ご活用いただければ幸いです。

（表1）立地環境別映画館数

立地環境別	平成	平成	平成	平成	平成	増減数
	3年	6年	9年	13年	16年	
計	1,568	1,571	1,635	2,354	2,464	110
単独館	557	459	278	299	290	9
複数の映画館の同居ビル			828	802	590	212
ショッピングセンターなどの同居型			389	1,047	1,445	398
その他			140	206	139	67

*平成3年と6年は単独館以外のデータがない

（注）シネマコンプレックス方式とは、同一建物又は複合ビル内に複数のスクリーンを持ち、かつ、入場券売場、売店、

入口及び映写室等を共有している映画館をいう。

経済産業省 HP (<http://www.meti.go.jp/statistics/>)

減少を続ける新しい生命

厚生労働省が行っている「人口動態統計月報年計（概数）の概況」が6月1日に発表された。

その中に「合計特殊出生率」というのがある。合計特殊出生率とは、15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値であり、1人の女性が一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。表は公表してある都道府県別にみた合計特殊出生率の表に都道府県別の順位を掲載したものである。

平成17年の全国の合計特殊出生率は1.25で、前年の1.29を下回った。都道府県別にみると、合計特殊出生率が高いのは、沖縄県（1.71）、福井県（1.47）、宮崎県（1.46）、福島県（1.46）等である。一方で低いのは、東京都（0.98）、奈良県（1.12）、京都府（1.13）、北海道（1.13）等で、大都市を含む地域が目立つ。

本県の合計特殊出生率の順位は8位で、九州の各県においては、全国の10位以内に福岡を除く全ての県が入っており、九州は高い水準であることがわかる。

平成17年において合計特殊出生率が前年より増加したのは、福井県のみであることが表から読み取れる。各県が減り続ける中で増加したということは、注目に値する事だといえる。

この「人口動態統計月報年計（概数）の概況」のデータは、厚生労働省のホームページに掲載されており、ご活用頂ければ幸いです。

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>

表) 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成17年	順位	平成16年	順位
全 国	1.25		1.29	
北 海 道	1.13	44	1.19	44
青 森 県	1.25	34	1.35	23
岩 手 県	1.36	15	1.43	12
宮 城 県	1.19	39	1.24	38
秋 田 県	1.27	32	1.3	34
山 形 県	1.39	10	1.47	7
福 島 県	1.46	3	1.51	3
茨 城 県	1.24	35	1.33	29
栃 木 県	1.35	16	1.37	18
群 馬 県	1.32	21	1.35	23
埼 玉 県	1.18	40	1.2	41
千 葉 県	1.18	40	1.22	40
東 京 都	0.98	47	1.01	47
神 奈 川 県	1.17	42	1.2	41
新 潟 県	1.29	29	1.34	26
富 山 県	1.33	19	1.37	18
石 川 県	1.31	22	1.35	23
福 井 県	1.47	2	1.45	11
山 梨 県	1.31	22	1.36	21
長 野 県	1.39	10	1.42	14
岐 阜 県	1.28	31	1.31	32
静 岡 県	1.34	17	1.37	18
愛 知 県	1.3	25	1.34	26
三 重 県	1.29	29	1.34	26
滋 賀 県	1.34	17	1.41	15
京 都 府	1.13	44	1.14	46
大 阪 府	1.16	43	1.2	41
兵 庫 県	1.2	38	1.24	38
和 歌 山 県	1.12	46	1.16	45
鳥 取 県	1.26	33	1.28	36
島 根 県	1.44	5	1.5	4
山 口 県	1.4	9	1.48	6
岡 山 県	1.31	22	1.38	17
広 島 県	1.3	25	1.33	29
山 口 県	1.33	19	1.36	21
徳 島 県	1.21	36	1.31	32
香 川 県	1.39	10	1.43	12
愛 媛 県	1.3	25	1.33	29
高 知 県	1.3	25	1.3	34
福 岡 県	1.21	36	1.25	37
佐 賀 県	1.44	5	1.49	5
長 崎 県	1.39	10	1.46	10
熊 本 県	1.42	8	1.47	7
大 分 県	1.39	10	1.4	16
宮 崎 県	1.46	3	1.52	2
鹿 児 島 県	1.44	5	1.47	7
沖 縄 県	1.71	1	1.72	1

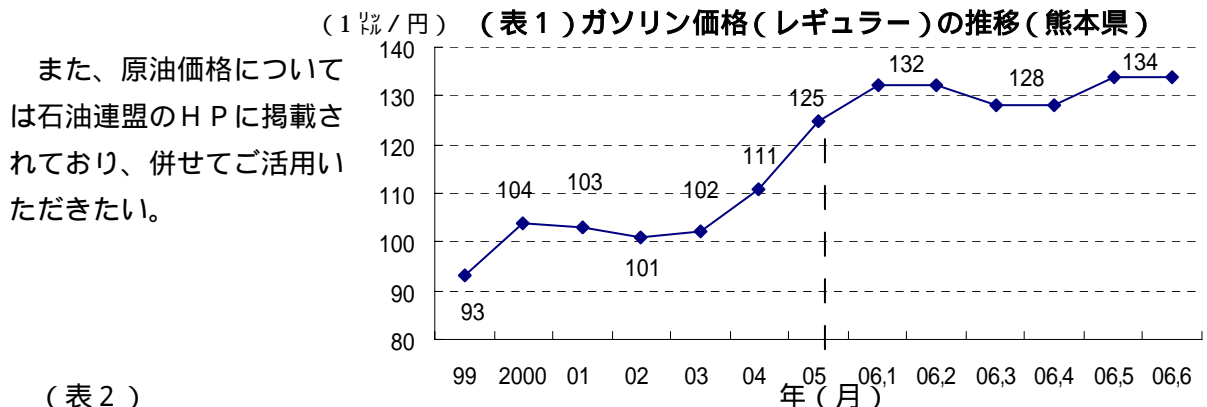
どこまであがるのか？ガソリン価格

総務省統計局では、全国規模で物価に関する基礎資料を得る目的として、小売物価統計調査が毎月行われている。その中で、原油価格の高騰により、ガソリンが値上げされたので、ガソリン価格の推移を見てみることにする。同様に、原油価格の推移についても、石油連盟のHPより見てみる。

表1は本県のガソリン（レギュラー）価格の1999年から2006年6月までの価格の推移である。99年から00年にかけて高騰し、00年から03年の3年間は横ばいとなっていたが、03年から05年で再び高騰しているのがわかる。06年5月には、1㍲134円台に達し、この7年間で最高の値がついている。

表2は原油価格の推移である。原油価格は00年から04年まではほぼ一定であったが、その後、高騰を続けて06年現在では99年の価格の約6倍近くになったことが見てとれる。

この小売物価統計調査年報の内容は、総務省統計局のHPからもダウンロードでき、また統計調査課内統計資料室にも保管されており、ご活用いただければ幸いです。

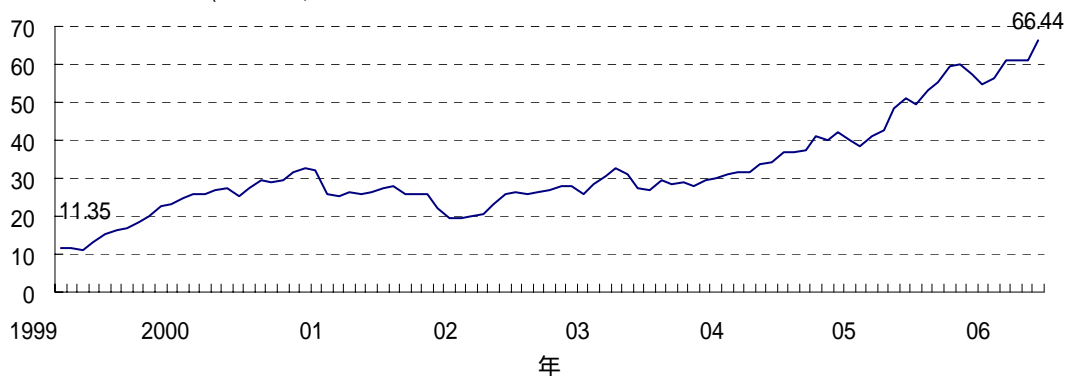


（表2）

原油価格の推移

06年以降は月単位で掲載

単位：ドル/バレル(約159㍲)



（資料）石油連盟 <http://www.paj.gr.jp/>
 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>

あなたが選ぶスポーツは！？

～社会生活基本調査結果から～

10月9日は、「体育の日」である。「体育の日」は、法律で「スポーツにしたいし、健康な心身をつちかう」ことを趣旨としている。そこで「体育の日」にちなんだ統計データを紹介する。

5年に1回、総務省統計局が行っている「社会生活基本調査」(以下基本調査という。)は、1日の生活時間の配分や、1年間の主な自由時間等における余暇活動なども調査している。

平成13年基本調査のスポーツの種類別行動者数の結果を基に「運動としての散歩・軽い体操」と「その他」を除く14の項目について、本県と全国のスポーツ種類別行動者数の割合を算出した(表)。

表を見てみると、本県・全国ともに「ボウリング」が高い人気を誇っていることがわかる。本県のベスト3は、1位が「ボウリング」、2位が「つり」、3位が「水泳」となっている。また、本県では「バレーボール」、「ゲートボール」が全国の約2倍となっている。

10月は運動会や「体育の日」といったスポーツの「秋」。さわやかなこの季節、スポーツに挑戦してみてもはどうだろう。

この調査のデータは、総務省統計局のホームページからダウンロードすることができ、また、統計調査課内の統計資料室にも保管してあるのでご活用頂きたい。併せて、本年度7回目のこの調査が10月に行われるので、ご協力頂ければ幸いです。

(表) スポーツ種類別行動者数の割合

(平成13年社会生活基本調査より)

	熊本県	全国
	割合(%)	割合(%)
野球(キャッチボールを含む)	6.88	7.64
ソフトボール	5.59	4.10
バレーボール	8.57	4.51
サッカー	4.59	4.06
卓球	4.17	5.36
テニス	3.26	4.35
バドミントン	5.91	5.28
ゴルフ(練習場を含む)	6.37	7.81
ゲートボール	1.88	0.93
ボウリング	15.41	16.25
つり	13.53	10.01
水泳	12.70	13.93
スキー・スノーボード	2.34	7.48
ジョギング・マラソン	8.80	8.30
計	100.0	100.0

煙に巻けないお財布事情

～ たばこの値上げと消費行動～

平成 18 年 7 月 1 日から、たばこが値上げされた。商品にもよるが、概ね 20 円程度の値上げであった。

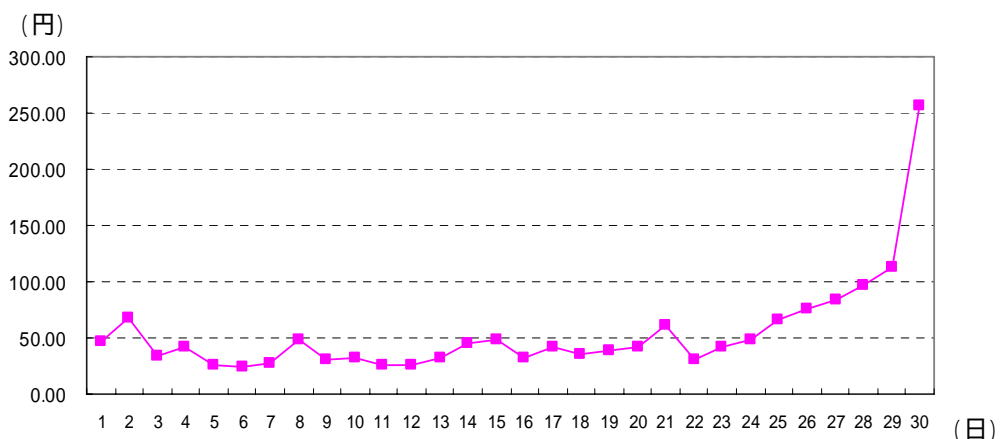
ある商品の値上げを、消費者があらかじめ知っているケースでは、値上げ前にその商品を購入しておこうという消費行動、いわゆる「駆け込み需要」が生じる。

平成 18 年 7 月 1 日から値上げされることがわかっていた愛煙家は、どのような消費行動をとったのだろうか。

総務省統計局が実施している家計調査では、月別の詳細結果表として「1 世帯当たり 1 か月間の日別支出」を公表している。下図は、平成 18 年 6 月における、たばこの 1 か月間の日別支出である（全国・全世帯）。たばこを全く消費していない世帯も含めた平均値で算出されているので、金額は低く出ているが、6 月 20 日過ぎから支出額が増え始め、値上げ直前の 6 月 30 日には、通常の 6 倍前後の支出をしたことがみてとれる。

将来にわたってたばこを吸い続ける愛煙家にとっては、単に目先の買いだめというだけで、大きな効果は期待できないであろうが、値上げがもたらす消費者心理を、この調査結果から読み取ることができそうである。

(図) たばこの1か月間の日別支出の推移(平成18年6月)(全国・全世帯)



家計調査結果 (総務省統計局)

古きをたずね・・・

～ 「統計上ヨリ見タル熊本縣ノ地位」 ～

統計調査課内に設置されている統計資料室には、各種統計調査の結果報告書等、約1万点余が保管されている。

ここでは、統計資料室に保管されている、大正12年刊行の「統計上ヨリ見タル熊本縣ノ地位」を紹介しよう。

中表紙の「凡例」には、「本書ハ統計上ヨリ見タル熊本縣ノ地位ヲ表示スルヲ以テ本旨トス」とある。また、「本書ハ主トシテ北海道外三府四十三縣ノ総数、平均、最多、最少ヲ表示シ次ニ本縣ノ地位ヲ掲ケ以テ之カ比較対照ニ便セリ」とある。

掲載されている各種統計調査結果には、熊本県の各項目数値及び全国順位が記載されており、地域間比較を可能にし、当時の本県順位、規模等を把握できる統計書であったことがうかがえる。

表1は、原書に掲載されている第五〇表を、用語等、原文のままに再現したものである。

(表1)「工業」 第五〇 畳表

第五〇		畳 表		大正十年					
	総数	平均	全国中				熊本縣	順位	
			最多		最少				
製 造 戸 数	82,404	1,753	大分	19,675	神奈川、群馬	1	5,859	5	
職 工 数	132,265	2,814	"	47,854	"	2	8,419	5	
製出高	数量(枚)	18,151,685	386,206	"	5,474,778	群馬	20	834,649	5
	価額(円)	15,191,633	323,226	広島	5,377,935	"	20	756,976	5

当時、本県の畳表製出高は全国で5位と、かなり盛んであったことがうかがえる。

ちなみに、「平成16年工業統計表(品目編)」(経済産業省)から作成した現代版「熊本縣の地位」を表2に示す。

単純比較はできないが、畳表製造業における本県の地位は、今も昔も高いといえそうである。

(表2)「平成16年工業統計表(品目編)」品目別出荷及び産出事業所数(従業者4人以上の事業所)

畳 表		平成16年						
	総数	平均	全国中				熊本縣	順位
			最多		最少			
産出事業所数	126	3	北海道、岡山	9	宮城、福島、茨城、新潟、静岡、愛知、京都、宮崎	3	7	4
出荷数量(畳)	1,405,026	29,894	岡山	320,549	京都	3,812	194,388	2
出荷金額(百万円)	3,154	67	"	526	"	25	248	2

空き巣が狙うタイミング

犯罪が発生する時間帯や曜日を知ることができれば、自主的な防犯策をとることができ、犯罪の発生を未然に防ぐことができそうである。

熊本県警察本部が毎年発行している「犯罪統計書」には、刑法犯や窃盗犯の発生時間帯・発生曜日別の認知件数等を掲載している。

そこで、窃盗犯のうちの「空き巣」について、発生時間帯と発生曜日を調べてみる。時間帯、曜日、いずれについても、「不明」が相当数あるため、平成12年から平成16年の5か年計で分析を試みる（図）。

空き巣の発生時間帯は14時～16時が22.8%と最も高く、次いで10時～12時、12時～14時が17.2%となっている。

曜日別ではどうだろうか。日曜日の10.7%が最も低く、次に低いのは土曜日の12.4%となっている。

文字どおり「空き巣」であるため、誰かが家にいる可能性の高い土曜、日曜は、認知件数は当然低くなる。最も危険なのは、平日の10時～16時であることがうかがえる。

このように、「犯罪統計書」は、効果的な自主防犯活動を支える、有益な資料となり得る。

平日の昼間における自主的な防犯パトロールや声かけは、空き巣被害を食い止める有効な手段といえるだろう。

（図）「空き巣」の時間帯・曜日別発生件数及び発生割合（H12～H16計）

	発生時間帯						
	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	
5か年計（H12～H16）（件）	0	0	18	104	249	494	
発生割合（％）	0.0	0.0	0.6	3.6	8.7	17.2	

	発生時間帯						
	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	
5か年計（H12～H16）（件）	494	653	329	240	203	84	
発生割合（％）	17.2	22.8	11.5	8.4	7.1	2.9	

	発生曜日						
	日	月	火	水	木	金	土
5か年計（H12～H16）（件）	451	642	611	656	669	663	523
発生割合（％）	10.7	15.2	14.5	15.6	15.9	15.7	12.4

Let's 観光!

熊本県の観光を統計で見るときの1つの資料として、「熊本県観光統計表」がある(以下、観光統計表という)。観光統計表は、観光物産総室が毎年発刊し、県内・県外別観光客数や地域別の観光客数の推移などを掲載している。また、参考資料として交通機関利用者数や有料道路利用台数なども掲載している。

ここでは、観光レクリエーション施設等の利用者数についてまとめた(下の表を参照)。県全域と観光統計調査区分の地域ごとに、順位づけを行い、前年との利用者数を比べている。

熊本県全域で上位5つの施設は熊本県の北部に集中している。また、上位3つの施設で前年に比べ利用者が増えている地域は、天草地域と人吉・球磨地域である事が見てとれる。

県内には、観光統計表に掲載している施設の他にも、数多くの観光地があるので、休日を使ってどこかにお出かけしてはいかがだろうか。

この観光統計表は、統計調査課 HP「熊本のデータ」からもダウンロードすることができるので、各施策の基礎資料として、また、様々な分野でご活用頂ければ幸いです。

「熊本のデータ」 <http://www.pref.kumamoto.jp/statistics/>

<熊本県全域>

順位	施設名	利用者数 (人)	(前年実績)	前年 増加率(%)
1	阿蘇ファームランド	4,402,949	4,226,315	4.2
2	セキアヒルス	1,818,379	2,260,340	19.6
3	七城山リゾート	1,410,074	1,416,030	0.4
4	三井グリーンランド	1,106,130	1,063,654	4.0
5	依山交流館 萌の里	1,023,850	957,121	7.0

<熊本市>

順位	施設名	利用者数 (人)	(前年実績)	前年 増加率(%)
1	フードパル熊本	871,800	921,980	5.4
2	熊本城	774,282	796,162	2.7
3	熊本市動植物園	571,215	684,890	16.6

<阿蘇地域>

1	阿蘇ファームランド	4,402,949	4,226,315	4.2
2	依山交流館 萌の里	1,023,850	957,121	7.0
3	大観峰茶店	706,700	603,000	17.2

<天草地域>

1	リップランド	390,153	370,797	5.2
2	うしぶか海彩館	145,609	158,520	8.1
3	天草パールセンター	105,249	101,859	3.3

<山鹿・鹿本地域>

1	水辺プラザかもと	956,499	1,002,668	4.6
2	道の駅「かほく」	606,368	649,430	6.6
3	田原坂公園	360,311	350,511	2.8

<玉名・荒尾地域>

1	セキアヒルス	1,818,379	2,260,340	19.6
2	三井グリーンランド	1,106,130	1,063,654	4.0
3	弥生乃湯	407,600	443,310	8.1

<菊池地域>

1	七城山リゾート	1,410,074	1,416,030	0.4
2	熊本文化の森	924,200	922,800	0.2
3	旭志村ふれあいセンター	647,510	690,448	6.2

<八代地域>

1	ピストログリーン	1,007,770	1,058,853	4.8
2	日奈久温泉センター	280,308	275,050	1.9
3	東陽交流センターせせらぎ	203,388	0	-

<人吉・球磨地域>

1	ふれあいリル茶湯里	258,390	247,676	4.3
2	多良木えびす物産館	106,518	90,974	17.1
3	ゆのま温泉湯楽里	84,224	82,820	1.7

<水俣・芦北地域>

1	肥後うらら	302,858	273,400	10.8
2	福田農場	183,760	191,000	3.8
3	大野温泉センター	155,139	160,256	3.2

<宇城地域>

1	三角西港	306,880	309,923	1.0
2	ロマンの湯・物産館	293,176	368,528	20.4
3	フィッシャーマンズクラブ ラ・ガール	281,938	276,784	1.9

<上益城地域>

1	通潤橋	198,206	228,939	13.4
2	そよ風パーク	170,270	186,519	8.7
3	くまもとエミナス	112,485	121,780	7.6